

盲導犬普及のためのキャンペーン活動

19番 西部由利子

【制作意図】

私は、盲導犬に最も多いラブラドル・レトリバーを飼っていることがきっかけで、小学生の頃から盲導犬に興味を持っていました。盲導犬は視覚障害者の目となり、生活を支えるだけでなく、心の支えとしてもとても大きな役割を果たしています。しかし、盲導犬一頭を育成するのに約200~300万の費用がかかることや、その育成資金の90%が国民からの寄付金や募金から成っていることから、盲導犬不足となっているのが現状です。

そこで私は、盲導犬普及のためのキャンペーン活動を行うことにしました。より多くの人に盲導犬に対する関心を持ってもらい、世の中にもっと盲導犬が普及することを目的とし、制作しました。

【デザインコンセプト】

どの制作物においても、見た人が優しい気持ちになれるような、暖かみのあるデザインを目指している。盲導犬の素晴らしさを伝え、関心を持ってもらえるような内容にする。

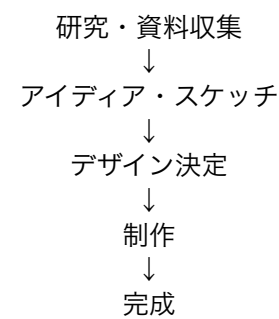
【方法】

ポスター : B1 (728×1030) 3枚

パンフレット : A5 (148×210)

卓上カレンダー : 117×136

【制作過程】

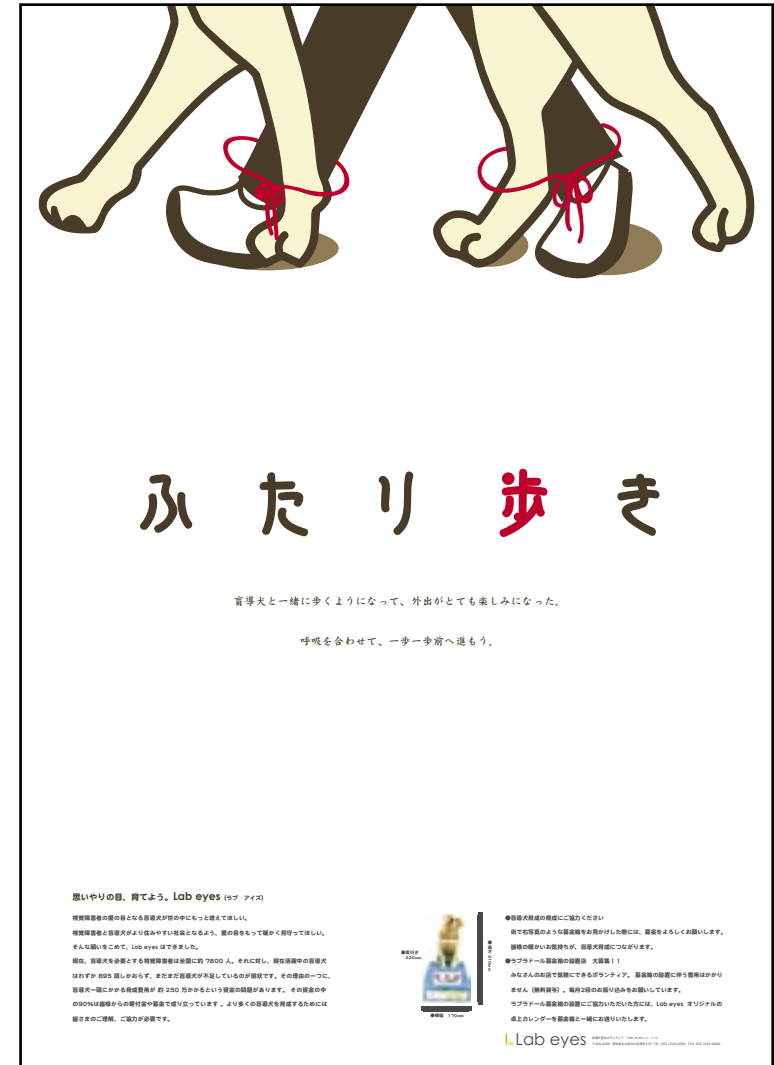


【考察】

盲導犬について調べてきて、私が一番素晴らしいと感じたことは「人と犬との深い絆」でした。盲導犬が視覚障害者に与えるものの大きさは以前から感じていましたが、盲導犬自身もたくさんの人と出会い、大切に育てられてきたのだということを改めて感じました。たくさんの愛情を受けて育ってきた盲導犬だからこそ、視覚障害者に対して精一杯のやさしさをサポートすることができるのだと思います。そんなやさしさ溢れる盲導犬をもっと多くの人に知ってもらいたいという願いをこめて制作してきました。

実際に盲導犬と生活している視覚障害者の方と接することができなかったことが残念でしたが、以前にも増して盲導犬の大切さを知ることができ良かったです。

ポスター



パンフレット表紙

